

部局名	都市整備部	所属名	公園緑地課	所属長名	朝比奈 昌明	電 話	483-1151 内線3230
-----	-------	-----	-------	------	--------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3348		事務事業名称	県立八千代広域公園建設事業					短縮コード	経常		臨時	3348
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	05	公園建設費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		都市計画法第63条 都市公園法 地方財政法第23条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和46年（1971年）八千代市総合計画に「新川自然公園構想」として温めていた事業です。県立広域公園の構想は、千葉県の「緑のマスタープラン」と「花見川・新川緑と水辺のネットワーク計画」及び本市の「緑のマスタープラン」等を踏まえ、県政の長期ビジョン「2000年の千葉県」に基づく「さわやかハートちば5ヵ年計画」（平成3年3月）のなかにおいて、県立都市公園の一つとして位置づけられました。平成4年3月、千葉県がとりまとめた「八千代広域公園基本計画報告書」においては、これら上位計画を踏まえた新川沿岸の低地、崖線及び新川の水面を含め全体面積112ヘクタールを計画区域とし、このうち第1期計画区域として53.4ヘクタールに及ぶ基本計画を提案しました。平成7年3月22日、53.4ヘクタールについて都市計画決定され、平成8年1月22日、事業認可されました。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
①平成16年6月 新県立中央図書館の建設断念（定例千葉県議会） ②平成16年10月 知事と市長の懇談 合同検討会議発足の合意 ③平成16年11月 合同検討会議 合計7回 ～平成19年3月 基本計画見直し（千葉県） パブリックコメント ④平成20年1月 ト ⑤平成20年4月 基本設計見直し 事業認可変更（H21.3.26） 事業期間、事業内容の変更 ⑥平成21年4月 県・市の合意に基づき市単独事業として総合グラウンド建設事業及び市立中央図書館整備構想に着手 ⑦平成22年3月 広域公園事業地内に八千代市の総合グラウンドなどの建設に関する覚書を締結					大項目（節）	03	公園・緑地						
					中 項 目	01	公園・緑地						
					小項目（施策）	01	都市公園の整備						
					細 項 目	03	広域公園の整備促進						
				実施計画の計画事業	4306	県立八千代広域公園建設事業							
					4307	総合グラウンド建設事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成11年4月 ～ 平成30年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	県民・市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 事務委託契約締結（対千葉県） 用地取得に伴う交渉 広域公園建設負担金の支払い 県立八千代広域公園建設委託金の請求 ☆暫定スポーツ広場開設 ☆市立総合グラウンド基本設計							
	※平成22年度に計画していること： 事務委託契約締結（対千葉県），用地取得に伴う交渉，広域公園建設負担金の支払い，県立八千代広域公園建設委託金の請求 ☆総合グラウンド建設事業（市事業）市民による全市的なスポーツイベント，小中学校による総合体育祭等が開催可能な施設を建設するため実施設計を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	公園面積を確保し，公園建設に資する。 ☆市立総合グラウンドを建設し，市民，県民の利用に供する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	単年度用地買収面積	m ²	4,207.44	5,341.66	3,327.83	1,806	
	指標2	用地買収進捗率	%	78.6	81.4	80.3	81.3	
	指標3	市立総合グラウンド建設事業	千円	0	20,000	12,800	50,000	
活動指標	指標1	単年度事業費	千円	149,400	90,000	96,000	105,000	
	指標2	執行実績	千円	87,500	90,000	94,922	105,000	
	指標3	市負担額	千円	27,000	25,333	23,569	22,500	
成果指標	指標1	事業費累計	千円	9,515,530	9,605,530	9,632,930	9,715,452	
	指標2	執行率	%	34.5	34.9	35	72.8	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3348	事務事業名称	県立八千代広域公園建設事業			所属名	公園緑地課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	14, 400	18, 900	20, 800	48, 800	
		一般財源	千円	13, 840	26, 104	16, 826	28, 174	
		その他	千円	27	0	0	4, 741	
	主な事業費の内訳			用地取得に伴う負担金	用地取得に伴う負担金 ☆総合グラウンド建設事業	用地取得等に伴う負担金 ☆市総合グラウンド建設事業	用地取得等に伴う負担金 ☆市総合グラウンド建設事業	
人件費 (B)			千円	20, 256. 5	17, 457. 6	17, 698. 5	15, 327. 7	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	48, 523. 5	62, 461. 6	55, 324. 5	97, 042. 7	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	広域的なスポーツ・レクリエーション等の需要に対応できる事業であります。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
目的 妥当 性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	財政状況の悪化により、事業費の確保が困難となっており、事業期間を延長しています。 また、千葉県議会において、知事より中核施設として予定されていた仮称新県立中央図書館の建設が、財政難を理由に断念する旨の発言があったことから県と市で対応を協議しております。 平成22年3月八千代広域公園内に八千代市の総合グラウンドなどの建設に関する覚書を締結しました。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	県立広域公園建設は、県の施策に関わる事項であります。八千代市が建設する総合グラウンドなどの建設は国の社会資本整備総合交付金（旧まちづくり交付金）事業として施行するものです。				
有効性・ 効率性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
			☐ 現状のままでよい					
			☐ 見直す必要がある	県立広域公園建設は、快適生活空間を確保する重要な施策であります。				
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 現状のままでよい					
			☐ 見直す必要がある					
			☐ 評価対象外事項					
			☒ 現状のままでよい					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	県立八千代広域公園の事業地を活用し、国の交付金を使って八千代市総合グラウンド等を建設することにより効率的・効果的な文化・スポーツ環境基盤の整備・充実が可能となります。				
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☒ 両方可能性はある					
			☐ 可能性がない					
			☐ 民間委託等					
			☐ 臨時的任用職員等の活用					
			☐ I T化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☒ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)	
有効性・ 効率性			☐ ある	県の公園用地に市の施設を整備するため、県の整備との役割分担やスケジュール等の調整を必要とする。				
			☐ ない					

コード	3348	事務事業名称	県立八千代広域公園建設事業				所属名	公園緑地課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			平成２６年度までに国の交付金を活用し、八千代市総合グラウンド等を建設する。 萱田側地区の用地買収の促進を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			広域公園建設に係る市の負担は減少しましたが，市の施設建設に伴う財政負担は増加することになります。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
新たな債務を負担しても必要な事業であるかとの懸念が表明されています。 一方で，市の負債を心配しつつも総合グラウンドなどの建設に期待する声もあります。									

所属長コメント	社会資本整備総合交付金（旧まちづくり交付金）の活用によって，懸案であった八千代市総合グラウンド等の建設が具現化してきた。当面の財政負担が生じるものの費用対効果から考えても，市民等に大きく貢献できうる，施設整備と考える。 なお，今後は限られた予算のなかで，安全で安心できる施設整備を心がけることとしたい。また，施設完成後の管理運営にあたっては，指定管理者制度の活用により，経費の削減に努めたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			総合グラウンド等の整備については，課題解決に努め，順次推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									